

奉行 / 11 シリーズ 『奉行 / 11 シリーズ』にデータを移行する作業(複数の利用者を登録して運用されている場合)

『奉行 / 10 シリーズ』または『奉行 / 8 シリーズ』から『奉行 / 11 シリーズ』にデータコンバートした後に、複数の利用者を登録して運用されている場合だけ追加が必要な手順書です。

※『奉行 / 11 シリーズ』のスタンドアロン製品で共通の手順書です。

以下の手順にしたがって進めてください。

1. 管理者が再設定する内容

P. 2

2. 各メニューの利用者が

再設定する内容

P. 4

● 管理者が再設定する内容①

ここでは、データコンバート後に管理者が再設定する内容と手順を説明します。

『奉行 *i* 10 シリーズ』または『奉行 *i* 8 シリーズ』で以下のメニューを利用していた場合は、『奉行 *i* 11 シリーズ』で再度設定しなおす必要があります。

○ [セキュリティ管理] - [セキュリティポリシー] の各メニュー
○ [セキュリティ管理] - [利用者登録] メニュー
○ [セキュリティ管理] - [権限管理] - [メニュー権限登録] メニュー
○ [セキュリティ管理] - [権限管理] - [データ領域権限登録] メニュー

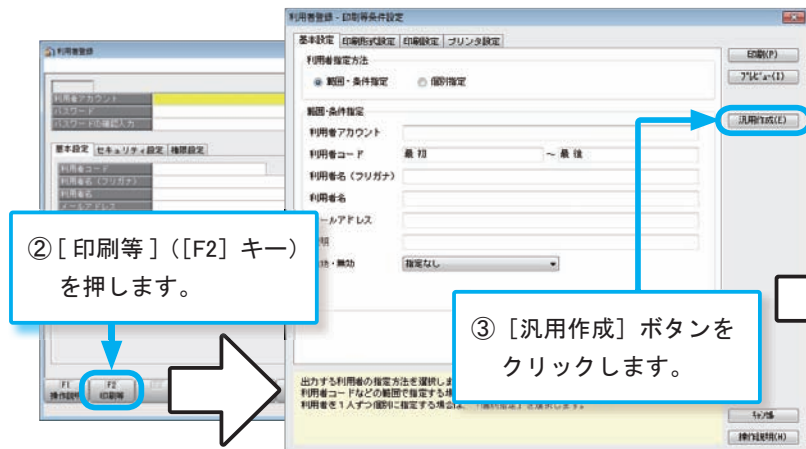
※ [利用者登録] メニューに関しては、汎用データを利用してデータを移行できますので、次ページの手順をご参照ください。

● 管理者が再設定する内容② <利用者のデータを移行する>

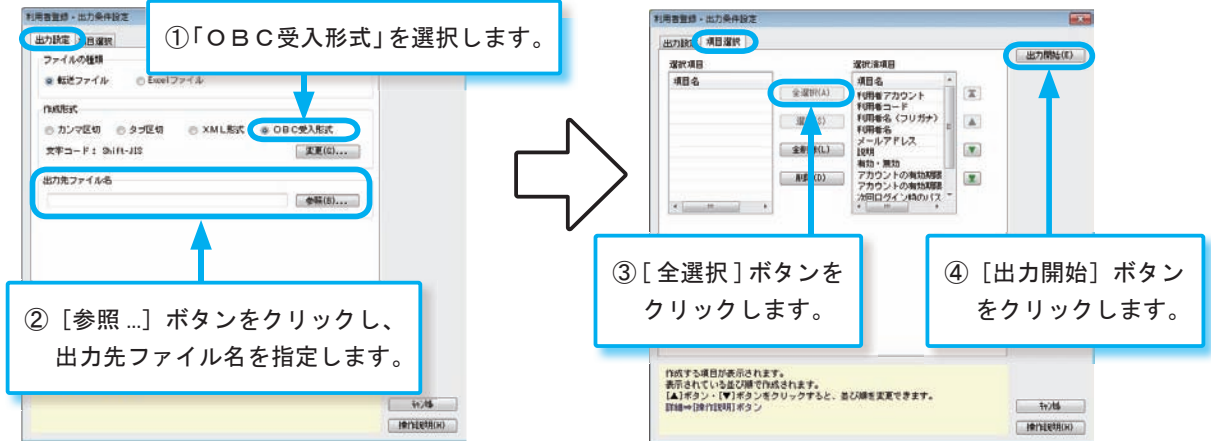
『奉行 / 10 シリーズ』または『奉行 / 8 シリーズ』での作業

1 開始

① [セキュリティ管理]-[利用者登録]メニューを選択します。



2 出力する条件の設定

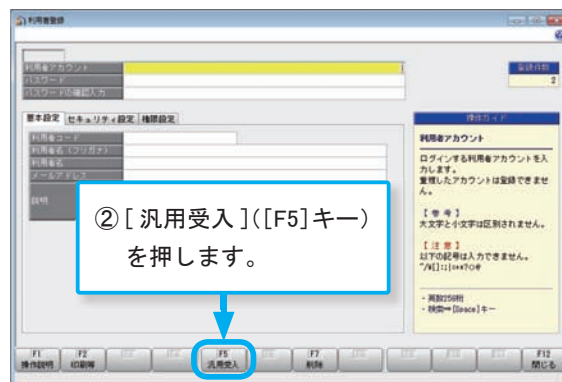


『奉行 / 10 シリーズ』または『奉行 / 8 シリーズ』と異なるコンピュータに『奉行 / 11 シリーズ』をセットアップした場合は、
2 で作成した汎用データを『奉行 / 11 シリーズ』のコンピュータにコピーしてください。

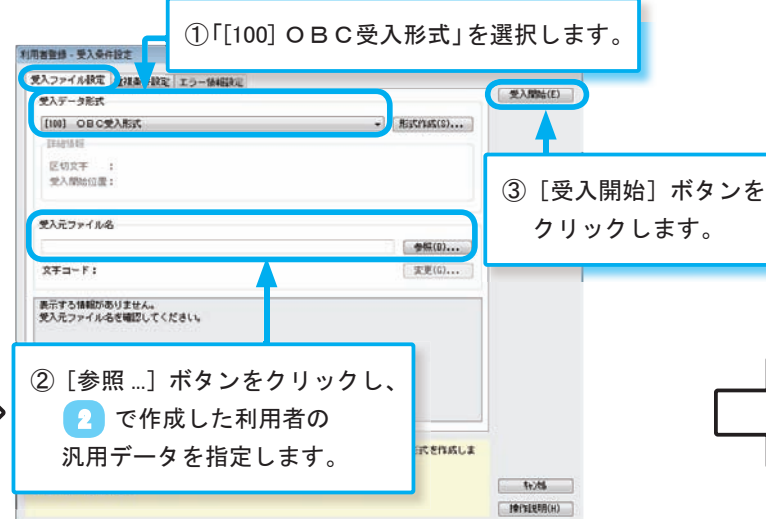
『奉行 / 11 シリーズ』での作業

3 復元作業の開始

① [セキュリティ管理]-[利用者登録]メニューを選択します。

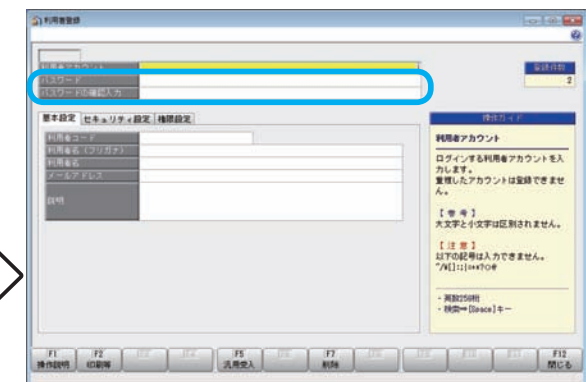


4 受け入れる条件を設定



5 パスワードの設定

[セキュリティ管理]-[利用者登録]メニューで、利用者ごとにパスワードを再設定します。



● 各メニューの利用者が再設定する内容

ここでは、データコンバート後に各メニューの利用者が再設定する内容を説明します。

『奉行 *i* 10 シリーズ』または『奉行 *i* 8 シリーズ』で以下のメニューを利用していた場合は、『奉行 *i* 11 シリーズ』で再度設定しなおす必要があります。

勘定奉行	○ [仕訳処理] - [仕訳処理] メニューの [設定] 画面 ([F 3] キーの内容)
	○ 各帳票メニューで、利用者ごとに設定していた印刷等の前回条件
	○ [仕訳処理] - [仕訳入力補助] - [仕訳伝票入力期間制限] メニュー

※各種ログは、再設定または復元できません。

以上で、すべての作業が終了です